教員等育成指標策定の背景・経緯

資料④

社会的要因

社会環境の急激な変化
＊ＡＩ等科学技術の進歩
＊グローバル社会の進展

学校を取り巻く環境の変化
＊大量退職、大量採用
＊課題の多様化・複雑化

教育課程・授業方法の改革
＊学習指導要領の改訂等

社会の要請

学校教育を担う教員の資質能力の向上が必要！

国の施策

教育公務員特例法の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）

【主な目的・内容】
＊「指標」を策定すること
指標…教員が高度専門職として身に付けるべき資質能力を示す
＊教員養成を担う大学等との共通認識が必要
養成・採用・研修を通じた新たな体制の構築
＊「指標」策定にあたり大学等と連携した協議会を設置すること
＊策定した「指標」に基づき「教員研修計画」を策定すること

千葉県の取組

＊協議会を、教員養成課程をもつ大学等の代表、各校種別の代表、県・市の関係課所の長で組織

＊千葉市と合同で、指標策定のための協議会を設置
共通の「指標」を策定予定

＊「指標」策定のための協議会を３回開催。
＊「千葉県・千葉市教員等育成指標（案）」（資料⑤）提示

＊「千葉県・千葉市教員等育成指標」策定
＊策定後、県・市それぞれで「教員研修計画」を検討